

第13回 昭島市公民館運営審議会記録

令和3年10月8日
午後6時30分～
第1会議室（2階）

（出席者）山崎会長、大串副会長、星野委員、佐々木委員、宮里委員、高橋委員、三木委員
菅原委員、久保委員、井ヶ田委員
（事務局）立川館長、遠藤事業係長、山本管理係長

1. 会長挨拶

2. 館長挨拶

3. 第12回定例会記録の確認について

特になし

4. 報告事項

①東京都公民館連絡協議会委員部会について

- ・9月29日（水）日野市にて第6回委員部会運営委員会が開催された。

<報告事項>

第3回公民館研究大会企画委員が小金井市にて開催された。

- ・基調講演・各種課題別集会の記録は紙媒体での配布。都公連ホームページにも掲載する。
- ・基調講演は2月5日から都公連ホームページに掲載をする。（10月21日の企画委員会にて、詳しい大会当日のスケジュールを決定する。）

<協議事項>

- ・令和3年度委員部会第1回研修会を9月11日（土）に開催予定だったが、感染状況を鑑みて開催延期をした。→開催日程が決定した。
テーマ「公民館を支える仕組み、育てる仕組みを考えてみよう」を12月15日（水）に日野市中央公民館にて開催予定。
- ・令和3年度委員部会第4課題別集会を令和4年2月5日に小金井市で開催予定だったが、出来ないで前倒しで開催し、内容をまとめたものを資料として提出する。12月11日（土）か12月18日（土）での開催を検討しており、今月の委員部会で決定する。

②公民館の主催事業について

- ・市民文化祭：10月9日から開催。今年度は20部門が参加。
- ・公民館40周年記念事業：9月24日に第1回実行委員会を開催した。公運審だけでなく公利連や市民大学フォーラム、公民館利用者などの10名が集まり、自己紹介をした後に周年事業のコンセプトについて説明をした。日程は令和4年度末を予定しているが次回の実行委員会の際に詳しい日程や内容について話し合う。

コンセプト：公民館は人々が「学ぶ場・集う場・つなぐ場」として地域づくりや人づくりの拠点としてその役割を担ってきた。しかし、新型コロナウイルス感染症の拡大により人と人との接触を避けなければならない、地域の様々なつながりも断たれ、公民館においても活動の自粛など大きな影響を及ぼした。公民館が「集う場・学ぶ場・つなぐ場」として今まで大切にしてきた対面による交流の大切さを痛感している。このような状況の中で、これからの公民館活動について模索していく必要がある。40周年記念事業では今までの公民館活動を振り返りつつ、新しい時代の公民館について公民館利用者と共に考え、新たな時代に繋げていく最初の一步になるような事業としたい。

・ 公民館だより：公民館まつりの参加団体募集

例年、公民館まつりは公利連が開催をしていたが、今年度から公民館との共催という形をとった。令和4年3月4日、5日、6日の3日間での開催予定となっているが、同時期に概ね60歳以上の方で構成されている団体の発表の場としてシニアグループ合同発表会を公民館主催で開催しており、発表の場が2つ重なってしまっている。そのため今年度から公民館まつりとシニアグループ合同発表会を合体して開催することとした。

5. 小ホールの特例的利用について

申請なし

6. 建議書について

本日は、公民館は何をする場所なのか、何をやっていくべきなのかを確認する場としたい。

【会長】

公民館は社会教育法に基づいて、運営をされている。東京都において、公民館に対するイメージが湧かないという人が多いが、東京都外では公民館というものは市民にとっての日常的な活動の場である。都外では公的な地域公民館と集落公民館が密接につながっているが、東京都ではこのような認識はないと思われる。

【副会長】

最近では自治会への参加も少なくなってきた。このような状況のため、町内会との繋がりを公民館としても深めていくのが良いと思う。

【委員】

公民館へは集う・学ぶ・繋がるというイメージがある。公民館は子供たちにとってなじみが薄いという部分があるので、愛称を考えたり、「あきしま」であいうえお作文のようなものを作ってみても面白いと思った。もっと子供に足を運んで、親しみを持ってもらうとより良いのではないかな。

【委員】

公民館との縁というのはほとんどなかったが、美術協会に入って活動をしていく中で公民館との関わりをもつようになった。先ほど「気軽に集える場所」という言葉が出ていたが、公民館の利用に関して、登録をしていない団体でも使用できるような制度になると良いのではないかと思った。

【委員】

市民文化祭へは年配の方々が集まるというイメージがある。公民館として繋がるということをお大切にすれば、市民文化祭に小・中学生の吹奏楽の演奏やダンスの発表などの項目を入れるといった子どもたちとも交流できる機会があると良いと思った。

【委員】

昭島市に引っ越してきた際に、KOTORI ホールの存在が大きいため公民館を含めた建物全体が、コンサートホールだと思っていたが、公運審の委員をやるようになってから、公民館とKOTORI ホールの違いなど様々なことを学んだ。自分でも体操の教室をやっているため公民館の部屋を利用しているが、公民館でもエンシスのようにもっと気軽に使えるようになれば良いのではないか。新しく昭島に引っ越してきた人でもわかるように公民館の行事などの広報の仕方を改めて考えていくべきだと思う。

【委員】

生まれも育ちも昭島市ではあるが、公民館の認識は薄かった。先日のカルガモのテレビ放送では、館長の肩書が「市民会館 館長」になっていて、残念だった。建物的には喫茶店付近を変えらるともっと集まりやすい雰囲気になると思う。

【委員】

公民館には様々な役割があるが、集う場としての要素を強く出していくことが良いと思う。公民館1階の交流ロビーは「市民が気軽に使えるようにわざと職員の目に入らない位置に作られた」と聞いて、すごく工夫されていると感じた。最近ではコロナウィルスの状況が落ち着いてきたとはいえ状況が変わり、また公民館が閉館となってしまった際には公民館から様々な情報の発信がしていければ良いと思う。

【委員】

皆さんのいうことに同意で、特に話すことはないが、昔は集会場のようなどころに行事の際には集まっていた。今思うと、このような場所が公民館だったのではと思う。

【委員】

公民館だよりが新しくなり、子どもも大人も見やすくなったので配布の方法を改めてみるのも良いと思う。年に一回でも全戸配布に近い形をとれば、もっと多くの人に公民館の存

在を知ってもらえると思う。

【会長】

現在、公民館だよりは自治会で回覧をしてもらっている。全戸配布は無理でも、自治会に加入している家庭に1枚ずつ配布すると良いのでは。

本日は、公民館のあり方や皆さんが公民館に対して感じていることなどを話していただいた。次回は、コロナ禍でも市民の人たちが繋がるために、公民館はどのようなことをしていけば良いのかを話していきたい。

次回から18時30分から20時30分までの開催としたい。

本日はこれで終了とする。ありがとうございました。

※次回は11月12日午後6時30分から、公民館2階第1会議室で行います。

※次々回は12月10日、公民館2階第1会議室で行います。